

●実務経験のある教員等による授業科目

音楽ビジネス科

コンサート・ライブスタッフコース

	科目	1年	2年	必修の別	授業形式	実務経験の有無の別	実務経験授業の時数
全科共通科目	SHOW!音楽エンタテイメントゼミ	38	38	必修	講義	○	76
	デビュー・就職実務Ⅰ	93		必修	講義		-
	デビュー・就職実務Ⅱ		55	必修	講義		-
	著作権		20	必修	講義		-
	PC実習	45		必修	実習		-
	選択授業	38	38	必修	講義		-
	異文化研究	22		必修	講義		-
	イベント制作実習A	134	110	必修	実習	○	244
	イベント制作実習B	301	305	必修	実習	○	606
専門科目	ライブマーケティングⅠ	38		必修	講義	○	38
	ライブマーケティングⅡ		38	必修	講義	○	38
	ビジネス経営学	38		必修	講義	○	38
	映像制作基礎	38		必修	実習	○	38
	番組制作実習	38		必修	実習	○	38
	デザイン実習Ⅰ	38		必修	実習	○	38
	デザイン実習Ⅱ		38	必修	実習	○	38
	音響照明舞台基礎	46		必修	実習	○	46
	コミュニケーション実践	19	19	必修	講義		-
	メディアプロモーション		38	必修	実習	○	38
	出版編集基礎		38	必修	実習	○	38
	イベント企画制作実習	38	38	必修	実習	○	76
	動画配信基礎		38	必修	実習	○	38
	アーティストプロモーション		38	必修	講義	○	38
合計	総授業時間数	964					
合計	総授業時間数		851				合計
	卒業時最少時間		1815				1466

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師として呼びし、オムニバス形式で講義を行う。 講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。 到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
18	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
19	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出

教科書等	なし
成績評価	<p>課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。 (2019年度例) エイベックス・エンタテインメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、oricon ME、株式会社エイスリー等</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務 I		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	93
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む          基本PPを使用しての授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響(ここは後期)についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。          検定は9月に実施し、合格率90.0%を目指す。後期対策授業は25コマを予定</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、社会人としてのルールの基本指導、新潟県について
2	第1編3章 特別講師による講義・レポート提出
3	第1編1章、メールについて① 特別講師による講義・レポート提出
4	第1編3章、メール発信のフィードバック① 特別講師による講義・レポート提出
5	第1編3章、消費税について 特別講師による講義・レポート提出
6	第1編3章、名刺交換について 特別講師による講義・レポート提出
7	第2編3章、メールについて② 特別講師による講義・レポート提出
8	第2編3章、メール発信のフィードバック② 特別講師による講義・レポート提出
9	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名書きについて① 特別講師による講義・レポート提出
10	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名下記について② 特別講師による講義・レポート提出
11	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
12	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
13	第3編4章 特別講師による講義・レポート提出
14	社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導
15	手紙の出し方の復習・郵送、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
16	郵送物のフィードバック、志望動機の書き方(将来の夢)について 特別講師による講義・レポート提出
17	志望動機のフィードバック 特別講師による講義・レポート提出
18	自己PRの書き方 特別講師による講義・レポート提出
19	履歴書の書き方① 特別講師による講義・レポート提出
20	履歴書の書き方② 特別講師による講義・レポート提出
21	履歴書の書き方③ 特別講師による講義・レポート提出
22	履歴書送付について、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
23	送付履歴書のフィードバック、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
24	模擬面接指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
25	特別講師による講義・レポート提出
26	進路面談・指導
27	労働条件セミナー、生活設計、模擬面接・指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出

教科書等	社会人常識マナー検定テキスト2・3級 自作プリント
成績評価	課題レポート提出30%、各期末課題(試験)提出25%、検定結果25%、出席率10%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅱ		実務授業の有無	×
担当講師	田中 史歩・永島 麻耶 (コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。 また、学生主体の自主イベントの企画制作も行いプロ活動につなげて行く。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アーティスト志望:「マンダラートシート」の作成 就職志望: I【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。「マンダラートシート」の作成
2	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。志望動機編 書き出しとフィードバック 就職志望:「マンダラートシート」フィードバック
3	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。自己PR編 書き出しとフィードバック 就職志望:①【自己PRとは】テーマ:自分の見つめなおしと認知。書き出しとフィードバック
4	アーティスト志望:プロフィール制作方法的の講義。 就職志望:②【自己PRとは】テーマ:自分の見つめなおしと認知。書き出しとフィードバック
5	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 校内イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:①【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
6	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
7	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
8	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
9	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望:①活動状況報告と個別フィードバック
10	アーティスト志望:校外イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:【面接対策(印象)】
11	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 就職志望:【レピュテーション(評価)・リスクマネジメント】
12	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:【自己世代を知る】Z世代、ミレニアル世代とされる自身の職場に置かれるポジショニング
13	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②活動報告と個別フィードバック
14	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(社内編)
15	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(クライアント・ユーザー編)
16	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:③活動報告と個別フィードバック
17	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。世の中に目を向ける
18	アーティスト志望:企画制作/ゲネプロ 就職志望:②【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。発表とフィードバック
19	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望: II【目標設定と計画、自覚】「マンダラートシート」の返却と振り返り。

教科書等	なし
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	著作権		実務授業の有無	×
担当講師	永島 麻耶		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	20 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽・エンタテインメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。自作PPとテキストを使用することで理解度アップを目指す。且つ模擬問題の解説により深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知らせてもらう。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、DVD視&解説
2	X章・I章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
3	II章・III章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
4	IV章・V章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
5	VI章・VII章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
6	VIII章・IX章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
7	模擬問題①②の実施及び解説
8	模擬問題③④の実施及び解説
9	模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出

教科書等	テキスト及びDVD(著作権情報センター借用)
成績評価	模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PC実習		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	45 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
2	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
3	模擬試験①～③
4	模擬試験④～⑥
5	模擬試験⑦、サンプル問題
6	Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
7	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
8	模擬試験①～③
9	模擬試験④～⑥
10	模擬試験⑦、サンプル問題

教科書等	<p>テキスト・問題集 (Word・Excel共に) 自作のプリント</p>
成績評価	<p>検定結果70%、授業態度10%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	選択授業		実務授業の有無	×
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。          科目数は毎年約30科目ほどである。          各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
2	各科目による
3	各科目による
4	各科目による
5	各科目による
6	各科目による
7	各科目による
8	各科目による
9	前期評価 各科目による
10	後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
11	各科目による
12	各科目による
13	各科目による
14	各科目による
15	各科目による
16	各科目による
17	各科目による
18	各科目による
19	後期評価 各科目による

教科書等	※各科目による
成績評価	<p>※各科目によって異なる</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	異文化研究		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	22 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション チーム分け 研究国決定
2	研究① PP作成
3	研究② PP作成
4	研究③ PP作成
5	各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価

教科書等	なし
成績評価	成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	



# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	134 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	<p>作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	110 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	<p>作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	301 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	305 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等

# SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ライブマーケティング I		実務授業の有無	○
担当講師	永島 麻耶		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38
対象学科	音楽ビジネス科		対象コース	全コース

授業概要	<p>コンサート・ライブビジネスの基本知識を学ぶ。アーティストマネジメント・音楽業界の仕組み・業界の仕事(職種)など、業界就職の目標となるべく業界知識を授業で習得する。音楽エンタテインメント業界のビジネスモデルを用いてマーケティングやSNS業界についても知識を学ぶ。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	音楽ビジネスとは? 「音楽ビジネス」とは何をビジネスにしているかの知識を学ぶ。
2	1回目で学んだ知識について振り返り、テーマごとに更に掘り下げ。音源・実演・グッズ・ファンクラブ(サービス)
3	【音源】について。CD・配信・ストリーミングサービスの違い～音源に携わるスタッフとは?の知識を学ぶ。
4	GW明け。第1回～第3回までの振り返り。今一度授業内容への動機付け。
5	【実演】について。コンサート・ライブ(実演)の運営・経費・携わるスタッフ・チケットシステムなどについて学ぶ。
6	【グッズ】について。グッズの仕事を知る。実際にグッズ制作を行なっている業者のサイトを使用。
7	【ファンクラブ(サービス)】について。ファンクラブ運営の仕事を知る。WEBとSNSなどを使用した展開について。
8	前段の授業で一通り通って来た仕事について、更にエンタテインメント業界の仕事をピックアップして掘り下げていく。プロダクション、コンサートプロモーター、レコード会社、音楽出版社、制作会社、ライブ・エンターテインメントEXPO関連企業から抜粋。
9	前期授業の振り返り、まとめと後期授業内容予定の説明。テスト
10	後期1回目。前期までの振り返り。今一度授業内容への動機付け。前期テストの振り返り。
11	①【エンタテインメント業界知識】プロダクション、コンサートプロモーター、レコード会社、音楽出版社、制作会社、ライブ・エンターテインメントEXPO関連企業から抜粋。
12	②【エンタテインメント業界知識】プロダクション、コンサートプロモーター、レコード会社、音楽出版社、制作会社、ライブ・エンターテインメントEXPO関連企業から抜粋。
13	①【音楽ビジネスマーケティング知識】プロモーション・マーケティングについて。ライブ、グッズ、音楽サービスでのマーケットの仕組み。
14	②【音楽ビジネスマーケティング知識】プロモーション・マーケティングについて。ライブ、グッズ、音楽サービスでのマーケットの仕組み。
15	③【音楽ビジネスマーケティング知識】プロモーション・マーケティングについて。ライブ、グッズ、音楽サービスでのマーケットの仕組み。
16	①【音楽ビジネスマーケティング知識】からの企画(グループワーク)
17	②【音楽ビジネスマーケティング知識】からの企画・まとめ・資料制作(グループワーク)
18	③【音楽ビジネスマーケティング知識】からの企画の発表(グループワーク)。プレゼンテーション実施
19	【まとめ】グループワーク・プレゼンテーションへのフィードバック

教科書等	<p>オリコンコンフィデンス/マネジメントの実務/ヒットの崩壊/音楽業界金のパイブル/ 誰が音楽をタダにした 他</p>
成績評価	<p>課題・グループワークレポート提出80%、授業態度および学習意欲20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>コンサートプロモーター 実務約10年【FOB企画】(プロモーター・有料会報誌編集長として勤務)</p> <p>販売店勤務 実務2年半【株式会社アミグ】(接客・商品発注管理等)</p> <p>飲食店勤務 実務2年(接客・調理・店舗管理責任者)</p>

# SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ライブマーケティングⅡ		実務授業の有無	○
担当講師	永島 麻耶		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音楽ビジネス科		対象コース	全コース

授業概要	1年次で学習、実習で学んだものを基に実践(企画・プレゼン)していく。 オリコンコンフィデンスの記事を基に、エンタテインメント業界人が語る事、研究事例をグループワークで分析し、自己なりの見解を発信する。 企画力・実践力・プレゼン力・発信力を学習する。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【1年次の振り返り】音楽エンタテインメント業界について。
2	2019年間マーケットレポートを読み解く。グループワークで分析～まとめ～見解発表
3	①【エンタテインメント・ビジネス2020 知っておきたい20のこと】グループワーク～見解発表
4	②【エンタテインメント・ビジネス2020 知っておきたい20のこと】グループワーク～見解発表
5	③【エンタテインメント・ビジネス2020 知っておきたい20のこと】グループワーク～見解発表
6	①【Music Cityを作るための法則】新潟を音楽で元気にする為には？をイメージ、企画する。
7	②【Music Cityを作るための法則】新潟を音楽で元気にする為には？をイメージ、企画する。
8	③【Music Cityを作るための法則】新潟を音楽で元気にする為には？をイメージ、企画プレゼン・サマーレビューに向けて実践
9	④【Music Cityを作るための法則】新潟を音楽で元気にする為には？をイメージ、企画プレゼン・サマーレビューに向けて実践
10	⑤【Music Cityを作るための法則】振り返りとフィードバック
11	【配信ビジネスの可能性】配信ビジネス業界を研究する
12	【配信ビジネスでヒットしたアーティスト】「ヒット曲」軸「アーティスト」軸とは？
13	【音楽に必要不可欠！デジタルマーケティング】
14	①【ストリーミングを理解する】ストリーミング市場の音楽マーケティング研究する。グループワーク
15	②【ストリーミングを理解する】グループワークの発表とフィードバック。
16	①【ストリーミング時代のアジア音楽の未来・アナログとストリーミングの相性】グループワーク
17	②【ストリーミング時代のアジア音楽の未来・アナログとストリーミングの相性】グループワークの発表とフィードバック。
18	①【ライブ・エンタテインメントチケット問題について】グループワーク
19	②【ライブ・エンタテインメントチケット問題について】グループワークの発表とフィードバック。

教科書等	オリコンコンフィデンス/マネジメントの実務/ヒットの崩壊/音楽業界金のバイブル/ 誰が音楽をタダにした 他
成績評価	課題・グループワークレポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	コンサートプロモーター 実務約10年【FOB企画】(プロモーター・有料会報誌編集長として勤務) 販売店勤務 実務2年半【株式会社アミン】(接客・商品発注管理等) 飲食店勤務 実務2年(接客・調理・店舗管理責任者)

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ビジネス経営学		実務授業の有無	×	
担当講師	早福俊明		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	38	時間
対象学科	音楽ビジネス科		対象コース	コンサートスタッフコース、アーティストマネージャーコース	

授業概要	簿記のテキストを使用し、仕事に役立つ取り引きの種類、商品棚卸・有高、損益分岐点などから損益計算書及び貸借対照表の見方まで学び、実際の数値入力の練習から、知識のレベルアップを図る。 授業展開は自作のPPとテキストを併用
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、損益計算書・貸借対照表の説明。数値入力で理解度を深める。
2	商品売買の種類、現金と通貨代用証券について
3	小口現金の取り扱いについて
4	手形と貸付金・借入金
5	その他の債権債務、その他消耗品等の費用について
6	貸倒れと貸倒引当金
7	固定資産と減価償却費
8	法人税・消費税
9	仕訳帳と総勘定元帳
10	商品有高帳①
11	商品有高帳②
12	海外取引①
13	海外取引②
14	損益分岐点①
15	損益分岐点②
16	精算表①
17	精算表②
18	損益計算書・貸借対照表記入①
19	損益計算書・貸借対照表記入②
20	

教科書等	スッキリわかる日商簿記3級
成績評価	授業内小テスト40%、期末試験(課題)30%、出席率20%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

# SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	映像制作基礎		実務授業の有無	○
担当講師	石村剛(伊藤 翼、大湊 幹生、清水 甲子郎)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	選択必修
対象学年	1	年	総授業時間	38
対象学科	音楽ビジネス科		対象コース	コンサート・ライヴスタッフ/マネージャーコース

授業概要授業概要	Youtubeチャンネルの運営、制作を通して映像制作、企画運営のスキルを学ぶ。 実際に生徒にYoutubeチャンネルの立ち上げてもらいそこに投稿するための動画を作り上げていく過程で企画、撮影、編集までを一貫して学んでもらう。 到達目標は、映像制作への興味関心を高め実際の現場で生きるスキルを身につけることである。
----------	--

授業計画授業計画	
回数回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業概要、今後のスケジュールについての説明。 iPhoneで動画を撮影、編集し簡単なインタビュー動画を作成。
2	インタビュー動画の作成、完成させる。
3	Youtubeチャンネルを作成、制作に伴う役割分担を決める。 テーマを決め映像制作を行う。(1-1)
4	テーマに沿った映像制作を行う。(1-2)
5	テーマに沿った映像制作を行う。(1-3)
6	役割分担を変更し新しいテーマで映像制作を行う。(2-1)
7	役割分担を変更し新しいテーマで映像制作を行う。(2-2)
8	役割分担を変更し新しいテーマで映像制作を行う。(2-3)
9	役割分担を変更し新しいテーマで映像制作を行う。(2-4)
10	役割分担を変更し新しいテーマで映像制作を行う。(2-5)
11	学校内のアーティストの30秒CMを作成。(3-1)
12	学校内のアーティストの30秒CMを作成。(3-2)
13	学校内のアーティストの30秒CMを作成。(3-3)
14	学校内のアーティストの30秒CMを作成。(3-4)
15	撮影編集スタッフのクラスと協力しMVを作成。(4-1)
16	撮影編集スタッフのクラスと協力しMVを作成。(4-2)
17	撮影編集スタッフのクラスと協力しMVを作成。(4-3)
18	撮影編集スタッフのクラスと協力しMVを作成。(4-4)
19	撮影編集スタッフのクラスと協力しMVを作成。(4-5)

教科書等	
成績評価	課題作品制作70%、授業態度および学習意欲30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	石村 テレビユニオン/カメラマン 勤続5年 MAD PRODUCTION 代表取締役 兼 システムエンジニア 勤続13年 伊藤 製造メーカー勤務 2年 MAD PRODUCTION 勤続1年 西原 テレビ技術制作会社【NST(エヌエステー)】 1年半 MAD PRODUCTION 勤続1年半



# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

SHO W！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス					
科目名	番組制作実習			実務授業の有無	○
担当講師	(株)ソリッド 畠澤弘晃 / 齋藤希		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	38	時間
対象学科	音楽ビジネス科		対象コース	全コース	
授業概要	ラジオ番組の制作を通し、企画立案力・制作力・ゲストブッキング・業界体験・プロモーション力を学ぶ。 制作した番組は、「FM PORT」で毎月最終金曜日24時～25時に放送されます。 My <a href="http://dreams.jp">dreams.jp</a> 、RYUTistのレギュラーコーナーでは、アーティストのイベントやリリース、活動情報を発信。 毎月番組のテーマに沿って企画・構成・制作、出演ブッキング等をセクションごとに分け、運営を行う。 通常授業時間外であっても、番組の制作活動は進行する。				
授業計画					
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など				
1	授業の趣旨・意義・ラジオ媒体と放送業界の説明。 ①講師自己紹介 ②ラジオ業界について ③番組制作という仕事について ④制作スケジュール説明				
2	①新2年生からの引き継ぎ ②各担当者決定。収録準備(スタジオ使用方法等)				
3	先輩制作番組の確認、感想。GW前、説明と課題提示。①収録準備(スタジオ使用方法等)②ゲストブッキング内容:番組紹介(My Dreams.jpライブ告知等)				
4	GW明け5月分収録原稿作成、実践～指導				
5	①5月分 番組収録				
6	①5月分検聴&反省会 ②キューシート記入 ③番組ホームページ更新作業指導				
7	①6月分 内容ミーティング ③ブッキング ②原稿作成				
8	①6月分 編集体験 ～ ②7月分 内容ミーティング				
9	①6月分搬入作業 ②キューシート記入 ③番組ホームページ更新作業指導 ④7月分番組内容決定～原稿作成。6月後半～8月末までのスケジュール説明。9月後期授業開始にあたっての説明と課題提示。				
10	①前期授業の振り返り ②番組新企画案発表 ③後期授業説明 ④10月分原稿確認				
11	①10月分収録～編集課題 ②11月内容ミーティング				
12	①10月分チェック～搬入 ②11月分企画会議 ③原稿チェック				
13	①11月分番組内容決定 ②原稿作成 ③チェック&修正				
14	①11月分収録 ②編集講座				
15	①11月分反省会 ②編集課題確認 ③12月分内容ミーティング				
16	①グラコン向け PRO TOOLS素材作り講座 ②グラコンプロモーション企画会議 ③原稿確認				
17	①12月分収録 / 1月分内容ミーティング				
18	①12月分編集課題確認 ②番組搬入				
19	①業界就職についてのディスカッション				
教科書等	教科書は使用せず。ホワイトボード、PC画面東映等で行う。				
成績評価	企画・制作課題80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。				
実務経験教員の経歴	ラジオ番組制作ディレクターとして番組やイベントの企画・制作を行い21年目を迎える。 平日の帯番組、アーティスト番組、各種特別番組、各種専門番組、野外音楽フェスティバルの立ち上げ～運営などを歴任。現在は朝と午後のワイド帯番組の制作統括、アウトドア専門番組と関連イベントの企画制作を中心に担当中。				

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デザイン実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	永島 麻耶/田中 史歩		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音楽ビジネス科		対象コース	全コース

授業概要	Illustratorの基本操作を学び、HP、フライヤーデザインなど実践的な操作を目標とする。 検定取得に向けた演習問題の実施等。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	①【基本操作】Adobeソフトについて
2	②【基本操作】Illustrator、Photoshop等のデザインソフトについて
3	③【基本操作】Illustrator基本操作の実践
4	④【基本操作】Illustrator基本操作の実践
5	⑤【基本操作】Illustrator基本操作の実践
6	⑥【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題
7	⑦【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題
8	⑧【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題
9	⑨【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題
10	①【デザイン】演習問題
11	②【デザイン】演習問題
12	③【デザイン】演習問題
13	④【デザイン】演習問題
14	①【デザイン】演習問題・検定用問題実践
15	②【デザイン】演習問題・検定用問題実践
16	③【デザイン】演習問題・検定用問題実践
17	④【デザイン】演習問題・検定用問題実践
18	⑤【デザイン】演習問題・検定用問題実践
19	⑥【デザイン】演習問題・検定用問題実践

教科書等	IllustratorクイックマスターCC・問題集
成績評価	演習問題理解度70%、授業態度および学習意欲30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	コンサートプロモーター 実務約10年【FOB企画】(有料会報誌編集長・コンサートプロモーターとして勤務) 販売店勤務 実務2年半【株式会社アミング】(接客・商品発注管理等) 飲食店勤務 実務2年(接客・調理・店舗管理責任者)

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デザイン実習Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	永島 麻耶/田中 史歩		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音楽ビジネス科		対象コース	全コース

授業概要	Photoshopの基本操作を学び、HP、写真加工の技術、フライヤーデザインなど実践的な操作を目標とする。検定取得に向けた演習問題の実施等。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	①【基本操作】Photoshopソフトについて
2	②【基本操作】Photoshop、Illustratorの組み合わせ方、実践の知識。
3	③【基本操作】Photoshop基本操作の実践
4	④【基本操作】Photoshop基本操作の実践
5	⑤【基本操作】Photoshop基本操作の実践
6	⑥【基本操作】Photoshop基本操作の実践・演習問題
7	⑦【基本操作】Photoshop基本操作の実践・演習問題
8	⑧【基本操作】Photoshop基本操作の実践・演習問題
9	⑨【基本操作】Photoshop基本操作の実践・演習問題
10	①【加工、デザイン】演習問題
11	②【加工、デザイン】演習問題
12	③【加工、デザイン】演習問題
13	④【加工、デザイン】演習問題
14	①【加工、デザイン】演習問題・検定用問題実践
15	②【加工、デザイン】演習問題・検定用問題実践
16	③【加工、デザイン】演習問題・検定用問題実践
17	④【加工、デザイン】演習問題・検定用問題実践
18	⑤【加工、デザイン】演習問題・検定用問題実践
19	⑥【加工、デザイン】演習問題・検定用問題実践

教科書等	PhotoshopクイックマスターCC・問題集
成績評価	演習問題理解70%、授業態度および学習意欲30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	コンサートプロモーター 実務約10年【FOB企画】(有料会報誌編集長・コンサートプロモーターとして勤務) 販売店勤務 実務2年半【株式会社アミング】(接客・商品発注管理等) 飲食店勤務 実務2年(接客・調理・店舗管理責任者)

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	音響照明舞台基礎		実務授業の有無	○
担当講師	野本展希		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	46 時間
対象学科	音楽ビジネス科		対象コース	コンサート・ライブスタッフコース、アーティストマネージャーコース

授業概要	<p>前期は舞台音響調整技能士3級取得を目指す。試験問題解集に基づいて学科試験、実技試験(制作等作業試験)、実技試験(判断等試験)の対策を行いながら音響、照明、舞台の知識を身に付ける。</p> <p>後期は学生自身が制作、オペレート、出演するLIVEを実施。校内の備品を使いながら実習を中心に行い進める。生徒にはそれぞれの作業を経験してもらい、お互いどのような気持ちや考え方でやっているか理解してもらいイメージを共有することも目的である。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【イントロダクション】舞台機構調整技能士3級試験について
2	学科試験対策(1. 舞台一般)
3	学科試験対策(2. 音響機構調整法)
4	学科試験対策(2. 音響機構調整法)
5	学科試験対策(4. 関係法規、5. 安全衛生)
6	実技試験(判断等試験)対策(楽曲・作曲家問題、楽器問題については除く)
7	実技試験(制作等作業試験)対策
8	実技試験(制作等作業試験)対策
9	まとめ(不足箇所重点)
10	学科試験対策(ふりかえり～過去問題)
11	学科試験対策(過去問題)
12	1人ずつ制作等作業試験のテストを行いながら、グループごとに判断等試験のテストを行う
13	1人ずつ制作等作業試験のテストを行いながら、グループごとに判断等試験のテストを行う
14	音響基礎① モニター環境を整えてみよう(モニターから音を出してステージの中音を作る)
15	音響基礎② 基本的なバンドのセッティングを仕込もう(結線、回線チェック、マイキング等)
16	照明基礎① 基礎実習(機材説明、シュート、オペレート)
17	楽器の使い方 ギターアンプやベースアンプ等の説明 ドラムセットの名称や組み方 資料説明 セット図、タイムテーブル、回線表等の解説
18	LIVE発表に向けてミーティング 役割分担決めやセット図、タイムテーブル、回線表等の資料作成
19	リハーサル① LIVE発表に向けてリハーサル
20	リハーサル② LIVE発表に向けてリハーサル
21	LIVE発表① 作成したタイムテーブル通りに、仕込み→リハー→本番→バラシの一連の流れをやってみる
22	LIVE発表② 前回と同じことを別の役割で再度行う
23	1年まとめ 感想レポートと授業アンケート

教科書等	公益社団法人 日本舞台音響家協会「舞台音響技能検定・過去問題ナビゲーション 舞台機構調整技能士3級」
成績評価	<p>前期：試験結果：60%(学科30%、実技30%)、授業態度および学習意欲40%</p> <p>後期：技能予習・復習による課題クリア70%、授業態度および学習意欲30%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>音響オペレーターとして【新潟 CLUB JUNK BOX】5年、【The PLANET】2年勤務</p> <p>ホール管理業務として【NKSコーポレーション】に6年勤務</p> <p>舞台機構調整技能士2級 合格</p>

# SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	コミュニケーション実践		実務授業の有無	×
担当講師	永島 麻耶		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	音楽ビジネス科		対象コース	全コース

授業概要	<p>インターンシップ・実習・自主企画のイベントなどの運営や管理について、音楽ビジネス科全体でコミュニケーションと共有を行う。 年間を通してディスカッションを行う上で、社会常識、仕事の進行の仕方、ビジネスマナー、コミュニケーションについて力を付ける。学科理念である「人間力」の為の時間。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	インターンシップ・イベント企画などの実施、制作作品や番組についての情報共有とディスカッション。
2	インターンシップ・イベント企画などの実施、制作作品や番組についての情報共有とディスカッション。
3	インターンシップ・イベント企画などの実施、制作作品や番組についての情報共有とディスカッション。
4	インターンシップ・イベント企画などの実施、制作作品や番組についての情報共有とディスカッション。
5	インターンシップ・イベント企画などの実施、制作作品や番組についての情報共有とディスカッション。
6	インターンシップ・イベント企画などの実施、制作作品や番組についての情報共有とディスカッション。
7	インターンシップ・イベント企画などの実施、制作作品や番組についての情報共有とディスカッション。
8	インターンシップ・イベント企画などの実施、制作作品や番組についての情報共有とディスカッション。
9	インターンシップ・イベント企画などの実施、制作作品や番組についての情報共有とディスカッション。
10	インターンシップ・イベント企画などの実施、制作作品や番組についての情報共有とディスカッション。
11	インターンシップ・イベント企画などの実施、制作作品や番組についての情報共有とディスカッション。
12	インターンシップ・イベント企画などの実施、制作作品や番組についての情報共有とディスカッション。
13	インターンシップ・イベント企画などの実施、制作作品や番組についての情報共有とディスカッション。
14	インターンシップ・イベント企画などの実施、制作作品や番組についての情報共有とディスカッション。
15	インターンシップ・イベント企画などの実施、制作作品や番組についての情報共有とディスカッション。
16	インターンシップ・イベント企画などの実施、制作作品や番組についての情報共有とディスカッション。
17	インターンシップ・イベント企画などの実施、制作作品や番組についての情報共有とディスカッション。
18	インターンシップ・イベント企画などの実施、制作作品や番組についての情報共有とディスカッション。
19	インターンシップ・イベント企画などの実施、制作作品や番組についての情報共有とディスカッション。

教科書等	なし
成績評価	<p>報告書の提出80%、実践および活動意欲20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	メディアプロモーション		実務授業の有無	○
担当講師	スワンプ		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音楽ビジネス科		対象コース	全コース

授業概要	<p>色々な角度から音楽に纏わる企画、プロモーション、マネタイズ、イノベーションを考える。学校外の人間、社会人との接点を増やし実践的な環境を体験させる。ラジオ、YOUTUBE、SNSなど様々なメディアを使ってアウトプットする。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	「自己紹介・雑談アイデア出し」講師、生徒同士のコミュニケーションを図り、お互いの可能性を発表する
2	「テレビ電話ミーティング」テレビ電話のセッティングや事前の打ち合わせの準備、テレワークの重要性を学ぶ
3	「SNSでのプロモーションについて」各SNSの特性を理解して、生徒に記事を提案してもらう
4	「反応と動向」前回アップした記事のアクセス解析から傾向と対策
5	「企画立案」企画コンセプト、ターゲットの決定
6	「プロモーション戦略」企画に対して、これまでのデータを踏まえ自分たちなりにプロモーション方法を提案する
7	「企業に潜入」企業に伺い、各自の目線でプロモーションについて考える(遠足)
8	「ラジオ出演」ラジオ番組へ出演し企画のプロモーションを行う
9	「まとめ」前期を振り返り、後期に向けての目標を決める
10	「夏休みの出来事プレゼン」休み中の出来事を動画やスライド、パワポを使って自分なりに発表。
11	「ヒヤリング」校内、校外問わず、色々な人から話し聞き、情報を集める
12	「企画立案」アイデアだし、参考動画集め
13	「プレゼン」各自、動画、スライド、パワポなどを使って企画を提案
14	「制作」企画の進める、動画制作の準備
15	「ネタ集め」動画や音声、写真など企画に必要な素材を集める(キャンプ)
16	「動画制作」編集
17	「動画制作」編集
18	「拡散」動画や写真などを使って制作物を紹介、拡散する
19	「まとめ」後期を振り返り、今後の目標を立てる

教科書等	なし
成績評価	企画・制作・発信・コミュニケーション課題70%、授業態度および学習意欲30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ラジオパーソナリティーとして15年目。イベント企画会社を運営。WEB、SNSなどプロモーション企画会社の運営。

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	出版編集基礎		実務授業の有無	○
担当講師	風間彰充		講義実施時期	前期・後期
対象学年	2	年	必修・選択	必修
対象学科	音楽ビジネス科		総授業時間	38 時間
		対象コース	コンサート・ライブ/アーティストマネージャーコース	

授業概要	雑誌、ウェブというメディアの役割を理解し、それらが作られ、情報を世の中に発信するまでの一連の流れを学んでいく。また、地域における雑誌やウェブメディアの重要性を学び、情報を発信してユーザーの行動につなげていくおもしろさや、それが地域を活性化させていく仕事の一部であることを理解してもらう。1回の講義では、基本的に1コマは座学、もう1コマでは実際に雑誌やウェブ記事の制作に必要な業務(企画・取材・インタビュー・写真撮影・原稿作成・校正等)を想定した実務作業を行う。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【イントロ】→この講義の概要、目的を説明する【雑誌の基礎知識】→どうやって成り立っているかを知る【雑誌の役割】→雑誌メディアのニーズや世の中における役割などを学ぶ【雑誌ができるまで】→雑誌が作られるまでのおおまかな流れを知る
2	【雑誌の企画・特集などの立案について】→「雑誌の企画や特集記事などはどのようにして作られるのか？」読者のターゲット、そのニーズやトレンドに合わせた企画立案を学んでいく【実践】→雑誌のコンセプトや特集などを決める企画のディスカッションをやってみる
3	【具体的なページコンテンツ出し・取材候補策定】→「具体的な特集やページのコンテンツはどのようにして作られるか？」雑誌のコンセプトに沿って、具体的なページを想定していく【実践】→実際に何を掲載するか？をディスカッションする。そしてページコンテンツ出し・取材候補をリストアップしていく
4	【取材について】→「実際の取材はどのようにして行なわれているか？」アポイントの基本、取材相手から大事な話を引き出すにはどうしたらよいか【実践】→インタビュー。テーマを決めて、交互にインタビューをする
5	【原稿書きについて】→「原稿を書く時の基本とは？」説得力のある文章の書き方。分かりやすく、メッセージを伝える方法など【実践】→実際に原稿を書いてみる
6	【写真撮影について①】→「雑誌やウェブにおける写真の重要性と、その基本とは？」どんな写真がよいのか？写真が持つ意味、よい写真の基本的な撮り方を学ぶ【実践】→可能な限り、カメラで撮影をする
7	【写真撮影について②】→スマートフォンを使い、街に出てカメラで撮影をする
8	【広告について】→「雑誌やウェブメディアにおける広告の重要性とは？」広告の基本とは？広告の重要性、必要性を学ぶ【実践】→広告を作ってみよう！クライアントとテーマを設定して、自分のアイデアで広告を制作
9	【前期のまとめ・実践】→前期に学んだことを踏まえ、テーマを決めて実際に取材や写真撮影、原稿書きを行う
10	【後期】→後期は前期での学びを活かした実践の場。情報誌「月刊にいがた」編集特集への参加。【実践】→特集内容の説明会
11	【実践】→「月刊にいがた」特集の取材先リストアップ、制作ページのサムネール書き①
12	【実践】→「月刊にいがた」特集の取材先リストアップ、制作ページのサムネール書き②
13	【実践】→「月刊にいがた」特集の取材①
14	【実践】→「月刊にいがた」特集の取材②
15	【実践】→「月刊にいがた」特集の取材③
16	【実践】→「月刊にいがた」特集の原稿作成①
17	【実践】→「月刊にいがた」特集の原稿作成②
18	【実践】→「月刊にいがた」特集の校正、原稿内容確認
19	編集・情報発信基礎 卒業論文作成・発表

教科書等	教科書は不使用。必要に応じて、見本雑誌やプリント資料の配布をする。
成績評価	授業への取り組み姿勢60%、実践授業への参加状況20% 提出課題の内容評価20%。 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟の情報誌「月刊にいがた」および、新潟のローカルWEBメディア「日刊にいがたWEB」を発行・運営する株式会社ジョイフルタウンの出版部 副部長。編集ディレクター、音楽インタビュアー、ライター。

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント企画制作実習		実務授業の有無	○
担当講師	永島 麻耶		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音楽ビジネス科		対象コース	全コース

授業概要	オープンキャンパス、MyDreams.jp、柳都オレンジスタジアム、キョードー北陸などをはじめとしたインターンシップへの参加と自主企画イベントの運営を実践を通して学習する。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	インターンシップ・イベント企画などの実施
2	インターンシップ・イベント企画などの実施
3	インターンシップ・イベント企画などの実施
4	インターンシップ・イベント企画などの実施
5	インターンシップ・イベント企画などの実施
6	インターンシップ・イベント企画などの実施
7	インターンシップ・イベント企画などの実施
8	インターンシップ・イベント企画などの実施
9	インターンシップ・イベント企画などの実施
10	インターンシップ・イベント企画などの実施
11	インターンシップ・イベント企画などの実施
12	インターンシップ・イベント企画などの実施
13	インターンシップ・イベント企画などの実施
14	インターンシップ・イベント企画などの実施
15	インターンシップ・イベント企画などの実施
16	インターンシップ・イベント企画などの実施
17	インターンシップ・イベント企画などの実施
18	インターンシップ・イベント企画などの実施
19	インターンシップ・イベント企画などの実施

教科書等	なし
成績評価	報告書の提出80%、実践および活動意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	コンサートプロモーター 実務約10年【FOB企画】(プロモーター・有料会報誌編集長として勤務) 販売店勤務 実務2年半【株式会社アミング】(接客・商品発注管理等) 飲食店勤務 実務2年(接客・調理・店舗管理責任者)



# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	動画配信基礎		実務授業の有無	○
担当講師	小林伸嘉		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音楽ビジネス科		対象コース	コンサート・ライブ/マネージャーコース

授業概要	音楽ビジネスにおいて必須になったインターネット動画について学ぶ。 インターネット動画の概要など基礎的な知識の習得から動画業界の実情を学び、さらにスマホと一眼ムービーを 実際に使った動画制作を実習形式で体験する。 広報やプロモーション業務において簡易な動画を自ら発信できる人材となることを目指す。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション/インターネットのおおまかな仕組みについて
2	インターネット動画の仕組みについて/配信サーバーとは・動画配信の仕組みとコーデック
3	YouTubeについて
4	インターネット動画ビジネスについて/音楽業界と動画配信のかかわり
5	インターネット動画と著作権・権利処理について
6	SNS時代におけるコミュニケーション/ビジュアルコミュニケーションとは・SNSの動画機能
7	スマホを使った撮影/カメラの構図や使い方
8	スマホを使った動画作成について①/スマホで撮影実習
9	スマホを使った動画作成について②/スマホで動画編集について
10	スマホを使った動画作成について③/YouTubeなどSNSへアップロード
11	音楽業界における動画の重要性/Music Video事例
12	動画クリエイターのトレンドについて/一眼ムービーとは
13	動画撮影実習① 学校内で撮影
14	動画撮影実習② 屋外で撮影
15	動画撮影実習③ 屋外で撮影
16	動画編集実習① 簡単な動画編集ソフトで編集する
17	動画編集実習② 簡単な動画編集ソフトで編集する
18	動画編集実習③ 簡単な動画編集ソフトで編集する
19	作品提出/YouTubeにアップロードする

教科書等	ライブ配信&収録の教科書 ビデオサロン
成績評価	課題提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ブライダルビデオ制作会社勤務8年 テレビ制作会社勤務7年 インターネット動画配信会社勤務3年 映像制作業起業 nobuyosicom(パンダスタジオ新潟)10年、SKYFINDER合同会社 経営3年

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	アーティストプロモーション		実務授業の有無	○
担当講師	永島 麻耶		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音楽ビジネス科		対象コース	コンサート・ライブスタッフ/アーティストマネージャーコース

授業概要	1年次で学習、実習、実践をしたアーティストプロモーションについての振り返りを踏まえ、SHOW!内アーティストのファン構築、デビューとプロ活動へのプロモーションを実践していく。 グッズなど商材マーケティングについて
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【1年次の振り返り】アーティストマネジメント、プロモーション活動の実践報告とフィードバック。
2	①【ハマる理由を読み解く】テーマ:「名探偵コナン」女性がハマる3つの理由
3	②【ハマる理由を読み解く】テーマ:「名探偵コナン」女性がハマる3つの理由/パターンを自身の事例に差し替える。グループワークと発表
4	①【LINEのエンタメカンパニーを知る】プラットフォーム連携とは？
5	②【LINEのエンタメカンパニーを知る】プラットフォーム連携を自身の事例に差し替える。グループワークと発表
6	①【Twitterの活用と音楽プロモーション】事例を研究。グループワーク
7	②【Twitterの活用と音楽プロモーション】グループワークの発表と運営(サマーレビューへのプロモーション活用に向けて)
8	①【音楽は「聴かせる」だけではなく「見せるもの」「ネット動画シーンのトレンド」YouTubeより】グループワークにて研究
9	②【音楽は「聴かせる」だけではなく「見せるもの」「ネット動画シーンのトレンド」YouTubeより】グループワークの発表とフィードバック。
10	①【売れるグッズの作り方】グッズの機能を知る
11	②【売れるグッズの作り方】グッズを企画する。グループワーク～グッズの企画。
12	③【売れるグッズの作り方】企画グッズの制作。グッズのプレゼンテーションとフィードバック。
13	①【新人発掘】SHOW!内でアーティスト活動をしている学生(またはSNSなどで活動をしているアーティスト)をリサーチする。
14	②【新人発掘】探し当てたアーティストについて研究。
15	③【新人発掘】ターゲットのアーティストのプロモーション展開を考える。個人orグループワーク。
16	④【新人発掘と育成】ターゲットアーティストの企画プロモーションのプレゼン、フィードバック。
17	⑤【新人発掘と育成、発信】プレゼンで現実的に実施可能な事を具体化していく。
18	⑥【新人発掘と育成、発信】具体化した企画に沿って、Grand Concert 2021に活かせるアイテムを実施する。
19	⑦【アーティストマネジメント・プロモーション】の実施。Grand Concert 2021に向けて。

教科書等	オリコンコンフィデンス/マネジメントの実務/ヒットの崩壊/音楽業界金のバイブル/ 誰が音楽をタダにした 他
成績評価	課題・グループワークへの取り組みと企画力80%、授業態度および学習・活動意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	コンサートプロモーター 実務約10年【FOB企画】(プロモーター・有料会報誌編集長として勤務) 販売店勤務 実務2年半【株式会社アミング】(接客・商品発注管理等) 飲食店勤務 実務2年(接客・調理・店舗管理責任者)